

Kyoto Research Park ACTIVITY

KRP PRESS

2016.07 | Vol.146

特集 エレクトロニクス系ものづくり企業サポート

エレクトロニクス系 ものづくり企業サポート

産学公連携で先進技術のビジネス化を加速するKRPの企業サポート

Industry

Government

Academia

参加企業の進度にあわせたサポートで
市場ニーズに合った新技術の事業化を推進



case ③

事業化・新ビジネスに挑戦

事業化に取り組みたい
事業を海外で展開したい

海外展開支援としてKRP(株)の海外ネットワークを活用し、関西地域のオンライン技術・ナバーワン技術を発信。平成27年度にはミッション団を台湾に派遣し、台湾のものづくり企業とマッチングを実施しました。



※平成23年度から25年度までは近畿経済産業局補助事業として、平成26年度からは経済産業省(近畿経済産業局)委託事業として実施



case ②

事業化検討の段階へ

ビジネスパートナーを見つけたい
具体的な事業内容を検討したい

将来性が見込まれる「次世代パワーエレクトロニクス」の研究会を開催し、市場動向や技術課題等について議論しました。また、オープンイノベーションを通じて新規プロジェクトを創出、事業化に向けて活動中です。



case ①

技術シーズの可能性を検討

いま持っている技術の
可能性を知りたい

技術シーズの用途を検討する場として技術フォーラムなどを開催。平成27年度は「次世代電池」をテーマに、セミナーやパネルディスカッションを通じて、市場が求める技術革新や新素材などについて探りました。



特集

エレクトロニクス系
ものづくり企業サポート



エレクトロニクス&エネルギーシステム (E2) プラットフォーム

地域経済の活性化を目指し
関西に潜在する先進技術のビジネス化を加速

電子・エネルギー産業の隆盛地である関西の豊かな技術ポテンシャルを活かし、エレクトロニクス系ものづくり企業が産業の起爆剤として、地域経済を活性化することに大きな期待がかけられています。KRPでは、産学公連携により、潜在する技術シーズの新たなビジネス化を促進し、新プロジェクト、新ビジネスを生み出すサポートを推進しています。

WEBもチェック <http://www.krp.co.jp/sangaku/electronics/e2plat/>



▼ KRP(株) 担当者の声
産学公連携の強みを生かして
中堅・中小企業による
ものづくり技術のビジネス化を支援

成熟産業であり競合相手の多いエレクトロニクス業界において、新ビジネス創出に取り組みられている中堅・中小企業を支援するには専門的な知識や人脈が欠かせません。当社では、経済産業省をはじめ、関西地域の大学、産学支援機関等にご指導・ご協力を賜りながら活動を進めています。経験豊かな産業界OBの専門家を迎え、企業ヒアリングによる技術シーズの掘り起こしや、オープンイノベーションによる新ビジネス創出に取り組み、活動6年目を迎えた今、公設試験場の研究シーズの実用化や、もの

づくり企業の新技術の海外展開支援など成果が上がってきています。今後も様々な企画を打ち出していきますので、「ものづくり技術」を新ビジネスにつなげるイノベーション・ハブとして、ぜひ当社をご利用ください。

KRP(株) 産学公連携部
チーフコーディネーター
松浦 こまえ



参加者募集

第4回 「事業を創る」
技術経営フォーラム

「事業を創る」をテーマに、新時代にイノベーションを生む組織作りと、独自コア技術をもって諸産業に事業展開してきた成長企業の技術・経営戦略について、各講師の実体験を基に語っていただきます。



講師：プリンシプル・コンサルティング・グループ(株) 代表取締役 秋山 進氏
トーカロ(株) 代表取締役社長 三船 法行氏

日時：8月30日(火)15:00~
場所：KRP4号館2階ルーム1

お問合せ KRP(株)産学公連携部
TEL：075-315-8491
Mail：e2-info@krp.co.jp

▶ クラスターマネージャーの声



エレクトロニクス&エネルギーシステム分野から
ものづくり企業の新たな中核事業の創出に期待

エレクトロニクス&エネルギーシステム(以下、E2)プラットフォームは、近畿経済の活性化のために、中堅のものづくり企業が新規事業を立ち上げ拡大させる手助けを、経済産業省のご指導や、関西の大学、公的研究機関等のご協力をいただきながら推進しています。現在の第4次産業革命といわれる潮流の中で、ものづくりの事業は大きなターニングポイントに差

し掛かっており、何を、どのように、何時までに作るかに知恵を絞る必要があります。E2プラットフォーム事業は、新しい知見を求め、あるいは発信する人達に、出会いの場を提供し、ともに努力を重ねながら、このE2分野から日本を代表する中核事業が育つことを期待しています。多くの有志の参加で活況を呈することを望みます。



平成27年度新技術ビジネス化促進事業
クラスターマネージャー
奈良先端科学技術大学院大学
理事 太田 賢司氏



関西地域の 産学公連携ネットワークを形成

研究シーズを保有する大学や研究機関、新ビジネスに取り組むものづくり企業、事業化をサポートする産業支援機関の有機的なネットワークを形成。KRP(株)はこのネットワークを通じて、オープンイノベーションの機会を提供しています。

● 平成27年度新技術ビジネス化促進事業 委員

大学は、真理探究・curiosityベースの研究重視です。成果が見えて、「社会への持ち出し」を図ろうとすると、「真の産学連携」のために、単なる「つなぎ」ではなく、企業に強いincentiveを与え(産学連携やfunding探しなど)、企業をその気にさせることに腐心して欲しいと思います。JST「京都地域スーパークラスタープログラム」の産学連携が参考になるでしょう。KRP(株)が展開している「次世代パワーエレクトロニクス」への取り組みや時機を捉えたい情報発信など、産学公を有機的につなぐ活動には大いに注目し、期待しています。



京都大学
名誉教授
松波 弘之氏

● ネットワーク活用例

(株)サクラクレパス PI事業部

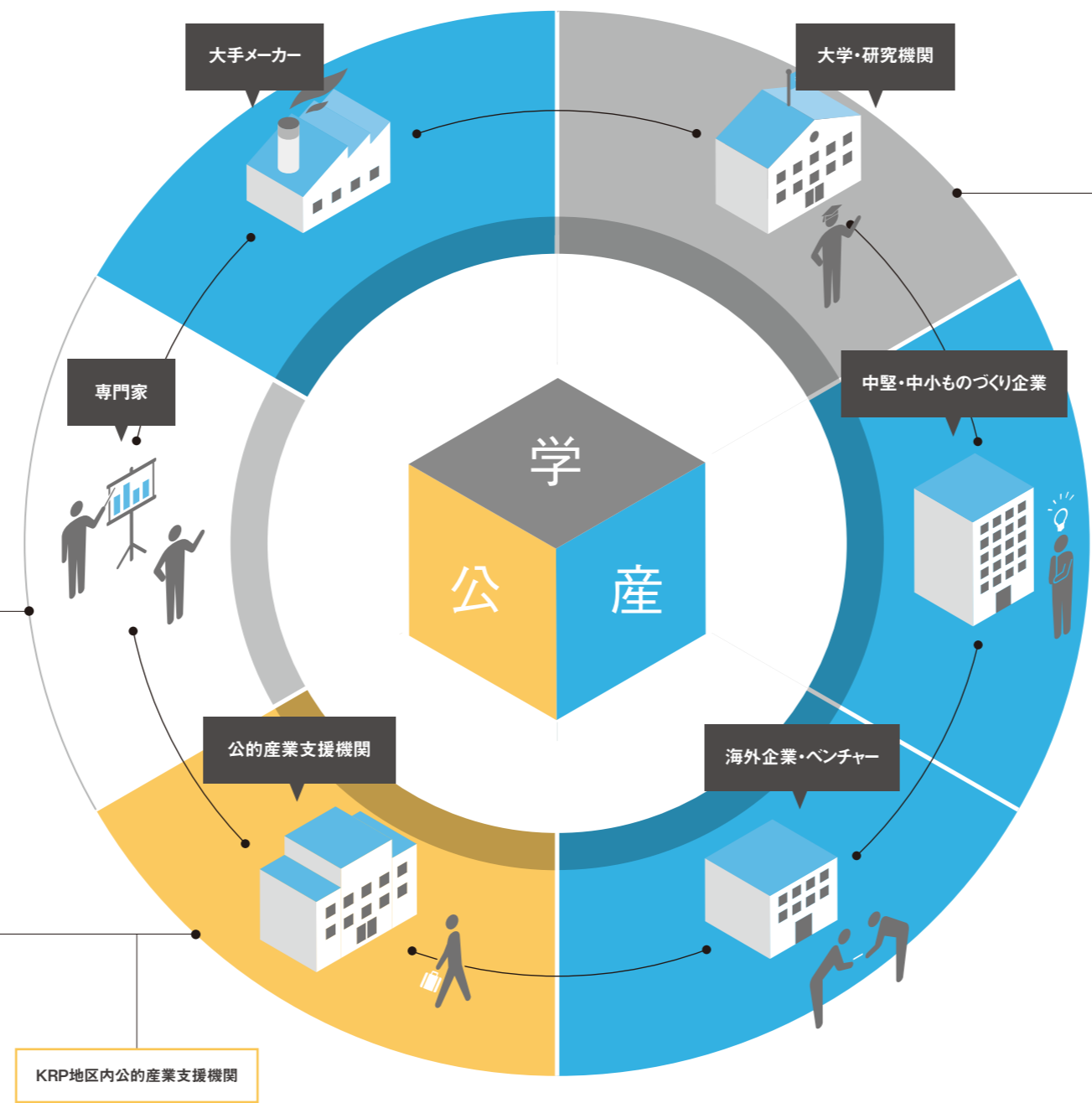
KRP(株)主催ミッション団(平成27年度経済産業省委託事業の一環)に参加し、KRPの姉妹パークである台湾の新竹科学工業園区ほかを訪問、「プラズマインジケータ™「PLAZMARK®」」を紹介しました。同製品は新規事業として、既存事業とは異なる業界への展開を図っていく位置付けにあり、国内を中心に拡販を進めていましたが、近い将来、台湾は非常に重要な市場になることを効率よく把握する機会となりました。また現地でのビジネスマッチングにて好感が得られ、今後の対外戦略を構築するにあたり有用な情報が得られました。今後もこのような活動を期待しております。



プラズマの強度を「色」で評価するツール「PLAZMARK®」

(株)サクラクレパス

文具事務用品、描画材料などの製造および販売。色材技術を応用した「PLAZMARK®」などの新規事業を展開。



平成27年度新技術ビジネス化促進事業 アドバイザー

デジタル産業の隆盛などによってエレクトロニクス系企業の産業構造が大きく変化している今、グローバルレベルで企画から開発、生産を経て販売に至るバリューチェーンの全てを1社だけで賄うことは難しい状況にあります。ビジネスの創出には自社の足りない部分を見極め、それを補完する企業や大学、公的機関との連携が必要。丹念なヒアリングや事業展開の刺激となるような「京都の隠れたイノベティブ企業」の紹介、多くの企業が集い交流する「共創の場」の提供など、KRP(株)ならではのコーディネート活動をさらに後押ししてビジネス創出を加速していきます。



京都大学 デザイン学ユニット
特任教授
賈井 孝氏

平成27年度新技術ビジネス化促進事業 プロジェクトマネージャー

新規事業化プロジェクトのコーディネート業務では、新ビジネスを発掘しようとする中小・中堅企業を主な対象に私が特に留意しています。ポイントは、産学公連携を基軸に高度な基盤技術知識や手法からのニーズへの多角的なアプローチがものづくり企業単独では、実行しにくい奥深い出口戦略達成の急所と確信して活動展開しています。こういった、地道な活動の積み重ねが地域新産業創出のプラットフォーム化ひいては、わが国の国際的地位のより一層の向上との熱望をもって今後の活動目標にしたいと思っています。



NPO法人
プラスチック人材アタッセ
理事
田中 一伸氏

経済産業省近畿経済産業局

次世代産業課長 森下 剛志氏

グローバルな産業競争力確保のためには持続的なイノベーション創出が必須です。関西地域には先端的な技術を有する企業・大学・研究機関等が多数集積し、高い研究開発ポテンシャルを有しています。今後も新たなイノベーションを生み出し続けるには各機関が相互連携をし、産・学・公が一体となってニーズに対応した技術課題の解決に取り組む体制を構築しなければなりません。そのためにはKRP(株)のように人・企業・技術を繋ぐ、ハブ的な機関の役割が重要です。

(地独)大阪市立工業研究所

日本のものづくりを担う中小・中堅企業の更なる発展のためには、他社との協業がより重要です。京都においてはKRP(株)がエレクトロニクス分野での産業支援活動を展開されてきました。地域のものづくり企業は産学公連携により企業間連携のきっかけがつかまれ、新たな技術の創出から事業化へとビジネス展開されていくものと確信します。そのためにも産学公連携拠点としてのKRP(株)の今後の活動に大いに期待します。



(地独)大阪市立工業研究所
理事長
中許 昌美氏

● 京都府中小企業技術センター

急速に進歩する技術動向等を中小企業が的確に把握し、技術革新・新規事業創出等に結びつけていくには、適切な情報の提供が大変重要です。このため、KRP(株)のパワーエレクトロニクス研究会と当センターの「中小企業SICパワーデバイス活用研究会」との共催実施等で、双方のネットワークを相互補完的に活用し、産学連携実装化の具体化に向けた取り組みを進めてまいりました。今後とも同じKRP地区の産業支援機関として、ともに力を合わせていきたいと考えています。



京都府中小企業技術センター
所長
但馬 幸伸氏

● (公財)京都産業21

(公財)京都産業21では、中小企業の顧客創出、新たな価値創造につながる「マッチング」に重点を置き、成長を目指す企業を応援しています。各種ビジネス交流会や成長分野であるロボットビジネス研究会等幅広い活動を通じ、企業間連携の場作りにも努めています。KRP(株)が取り組まれているプロジェクトとも、今後一層連携を深め、真の企業支援につなげていきたいと考えています。



(公財)京都産業21
専務理事
小林 章一氏

● (地独)京都市産業技術研究所

京都地域のイノベーションと新事業の創出を支えるのは、多様な産業分野で「ものづくり」に精通し、前人未踏の地を果敢に切り拓く製品開発型中小企業です。KRP地区には、製品開発型中小企業の研究開発活動をワンストップサービスで総合支援する産学公の諸機関が集積し、高機能なプラットフォームを形成しています。創立百周年を迎えた(地独)京都市産業技術研究所と中小企業支援機関の(公財)京都高度技術研究所もKRPコミュニティの一員として産学公連携による支援活動をさらに高度化して参ります。



(地独)京都市産業技術研究所
(公財)京都高度技術研究所
理事長
西本 清一氏

数字で見るKRP地区 最新集積DATA

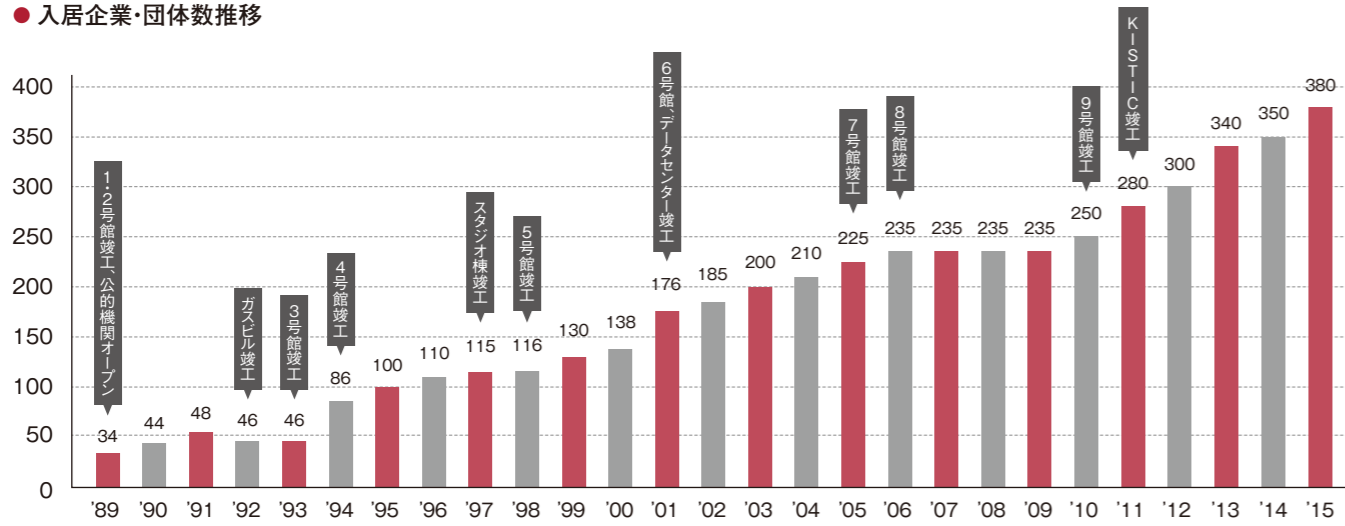
※2015年12月時点

KRP地区では、さまざまな業種の企業・団体が活動中です。
これからも、地域と社会の発展に貢献できる「まち」を目指します!

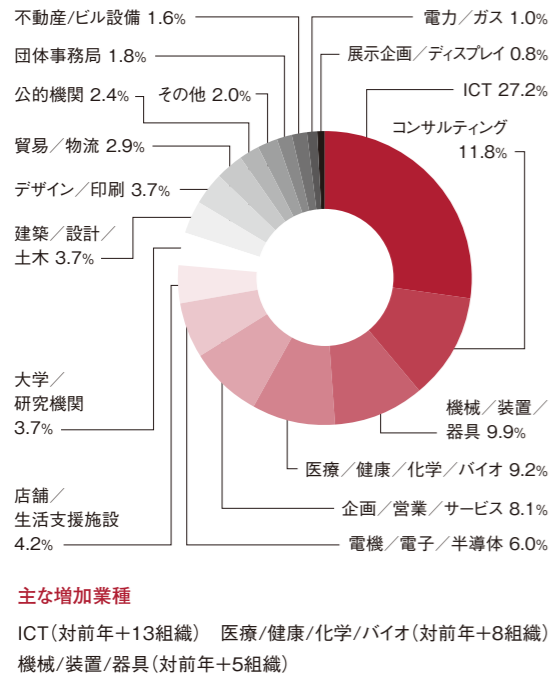
① KRP地区集積状況

●入居企業・団体数 約 **380** 組織 ●就業人口 約 **4,200** 人

●入居企業・団体数推移



② 業種割合



③ 外資系・海外進出企業

●外資系企業数 **15** 社 **7** か国

(外国に本社を持つ企業。又は外国の方が日本で起業した企業)

アメリカ:5社	ドイツ:3社	フランス:2社	イギリス:2社
韓国:1社	台湾:1社	アイルランド:1社	

●海外展開企業数 **26** 社 **26** か国

(日本に本社があり、外国に子会社、又は支社・支店・事務所を持つ企業)

中国:19社	香港:8社	アメリカ:7社	ベトナム:5社
韓国:5社	イギリス:4社	シンガポール:4社	タイ:4社
ドイツ:4社	スペイン:3社	イタリア:3社	フィンランド:2社
インド:2社	フィリピン:2社	スイス:2社	スリランカ:1社
ポーランド:1社	ニュージーランド:1社	インドネシア:1社	ブラジル:1社
フランス:1社	カナダ:1社	スウェーデン:1社	マレーシア:1社
オーストリア:1社	オランダ:1社		

今日これからのビジネストークに、明日の会議に、たちまちプラス。KRP 地区からホットな話題、最新ニュースをお届けします。



開設5年、京都企業の成果も着々
地域産業の活性化を京都バイオ計測センターから

京都バイオ計測センターを有効活用して
2020年に向けた「京都ブランド」の確立を

●バイオ計測プロジェクトの成果



山鹿純米吟醸酒「のろし」
黄桜(株)
新開発の分析技術を導入し、選抜した醸造用優良乳酸菌で醸した生飯山鹿プレミアム清酒。



Shinwa DS-TG 信和化工(株)
ガスクロマトグラフ(GC)分析に必要なトリグリセリドのメチルエステル化を効率的に行うキット。反応時間わずか10秒。サンプルを量り取ってから2分でGCに注入可能。

シンポジウムのご案内

京都バイオ計測センターシンポジウム
食・ヘルスケアから未病診断への新しいバイオ計測

食品、ヘルスケア、診断にもつながる新たな分析技術の開発とその解析を中心にシンポジウムを開催いたします。

日時: 8月2日(火)13:00~
場所: KRP1号館4階 サイエンスホール
お問合せ
京都バイオ計測センター(担当:山本、内藤)
TEL: 075-326-6101
Mail: kist-bic@tc-kyoto.or.jp

京都大学植田充美教授をプロジェクト代表として2011年に開設された「京都バイオ計測センター」(国研) 科学技術振興機構(JST)の事業により導入された総額5億円の最先端分析機器を京都府が譲り受け、企業、大学などの研究者に貸与し、分析のエキスパートが機器使用の指導にあたる、かつてない機能のオープンラボとして活用されている。さらに実機を使った講習会やマンツーマンのサポートで、導入を容易にする。本年度から(地独)京都市産業技術研究所(以下産技研)が運営主体となり、地元企業への技術展開がさら

に期待される。同センターの高度分析機器を利用することで、企業は研究・試作・生産・管理につながる技術革新をより効率的に実現できる。同センターを運営する産技研の計測技術は大学や企業の研究現場で利用されており、一部は製品化され試薬キットも販売されている。施設、分析機器、計測技術の連携サービスは、他府県や海外からの視察も多い。産技研では昨年度酒造メーカーと共同で高級日本酒の新しい製造管理技術を開発。地元企業に技術展開して生産を安定させ逼迫した高級酒の流通を改善、海外展開につなげようとしている。



(写真右)
京都大学教授
京都バイオ計測プロジェクト代表
植田 充美氏

(写真左)
(地独)京都市産業技術研究所
経営企画室研究戦略リーダー
バイオ計測センター管理者兼
研究主幹
山本 佳宏氏

れば、海外進出も含めた地元産業界の底上げが大いに期待できると同センターでは京都の中小企業に向けてより積極的な活用を呼びかけている。

KRPスタッフ イベントレポート

KRP STAFF EVENT REPORTS 

IoTの未来を構想する

IoTの最新動向とディスカッションで熱気に包まれる

開催日:4月12日(火)
担当部署:産学公連携部

京都大学デザインスクールの産学連携組織、デザインイノベーションコンソーシアム主催のフォーラム。(株)野村総合研究所の桑津浩太郎氏よりIoTのインパクトについて、ビジネスへの影響と動向の講演があった後、京都大学石田教授、榎木教授、松原教授が加わり、情報学と工学の異なった視点からの話題提供に基づいた議論が行われた。



京都職人工房交流会

京都職人工房@京都市サーチパーク
平成28年度活動スタート!

開催日:5月13日(金) 担当部署:産学公連携部

4月から新たなメンバーも増え、総勢50名で京都職人工房の今年度の活動を開始した。全メンバー対象の交流会を開催し、それぞれ自分の作品を持ち寄ってPRした。様々な業種の職人が集まるのも京都ならではの様子であった。会場では、ものづくりについて時間を忘れて語り合う姿が見られた。



第38回事業創出サロン

シリコンバレーの動向と日本・関西のものづくりのIoTにおける可能性をテーマに開催

開催日:5月18日(水) 担当部署:成長企業支援部

シリコンバレーのスタートアップの現状に詳しい大木美代子氏を招き、現地の状況や情報サイトの紹介など「今」を感じられる話をお話いただいた。後半は、テクノロジースタートアップアクセラレータや「Makers Boot Camp」等、京都のものづくりスタートアップ支援のムーブメントについてのパネルディスカッションが行われた。



iStockalypse in KYOTO

ゲッティイメージズジャパン KRP地区で撮影ワークショップ開催

開催日:5月28日(土)・29日(日)
担当部署:営業開発部

ベルリンやミラノなど世界各地で開催されているフォトグラファーのためのイベントが京都で開催された。プログラム内の撮影ワークショップの1会場として、5月にオープンしたばかりのサービスオフィス「KRP BIZ NEXT」や東地区中庭などで、「日本のビジネスシーン」をテーマに撮影が行われた。



欧州企業 KRP地区を視察

京都外国企業誘致連絡会 投資環境セミナーにてKRP地区視察

開催日:5月30日(月)
担当部署:経営企画部

日本進出を検討する欧州企業の京都視察団がKRP地区を訪れた。スペインやフィンランドをはじめとする欧州企業代表者が、KRP3号館のアルケマ(株)の研究開発拠点や京都市産業技術研究所、京都バイオ計測センターなどを見学し、互いの事業や研究開発支援の現状、日本のビジネス環境について意見交換を行った。



平成28年度京都市危険物防災推進大会

KRP(株) 営業技術部 京都市消防局長表彰受賞

開催日:6月8日(水)
担当部署:営業技術部

KRP(株)営業技術部の奥忠孝がKRP地区の危険物取扱者として永年取り組んできた業績を認められ、平成28年度優良危険物取扱者京都市消防局長表彰を受賞した。今年度の受賞人数は1人。授賞式は6月8日に京都ホテルオークラで行われ、記念の盾を受け取った。



KRP(株)産学公連携部 再生医療サポートプラットフォーム活動

平成28年度「再生医療サポートビジネス懇話会」スタート

再生医療を「モノづくり」から考える企業が参集
事業化、産業化に向けた意見交換

モノづくりの視点から再生医療を考える会員制の「再生医療サポートビジネス懇話会」の本年度第1回を4月に開催した。KRP(株)の再生医療サポートプラットフォーム活動の一環である当懇話会は8年目に突入し、京都大学再生医科学研究所の田畑泰彦教授を座長に、第一線の研究者をゲストスピーカーに招き、将来のビジネスにつながる議論を通年でやっている。

平成28年度の第1回目は「細胞能力を高めるためのモノづくり技術—再生医療サポートビジネスに向けて—」と題して、座長の田畑教授がスピーチ。再生医療の全体的な解説の他、特に研究に関しては中堅・中小のモノづくり企業が自社技術を活用して参入しやすい分野でありビジネスチャンスがある。再生医療産業をこれから

大きく発展させていくためには、多くの企業が参入しモノづくりの工学、治療のための医学、新薬開発などの薬学など異業種・異分野の融合が重要であると力説された。

再生医療ビジネスに対する関心の広がりやを反映して、懇話会参加企業分野は金属・樹脂・電気・機械から輸送・製薬・情報と多彩。懇話会には新規参加も含めて昨年とほぼ同数の参加があった。今回初の試みとして東京サテライト会場による生中継を実施。東京・横浜を中心にバイオベンチャーなど23社のモノづくり企業が来場。次回以降もサテライト中継を希望する声が聞かれた。懇話会は2カ月に1回開催し、再生医療のビジネス化を支援していく。

日時:4月20日(水) 場所:KRP1号館 サイエンスホール 主催:KRP(株)

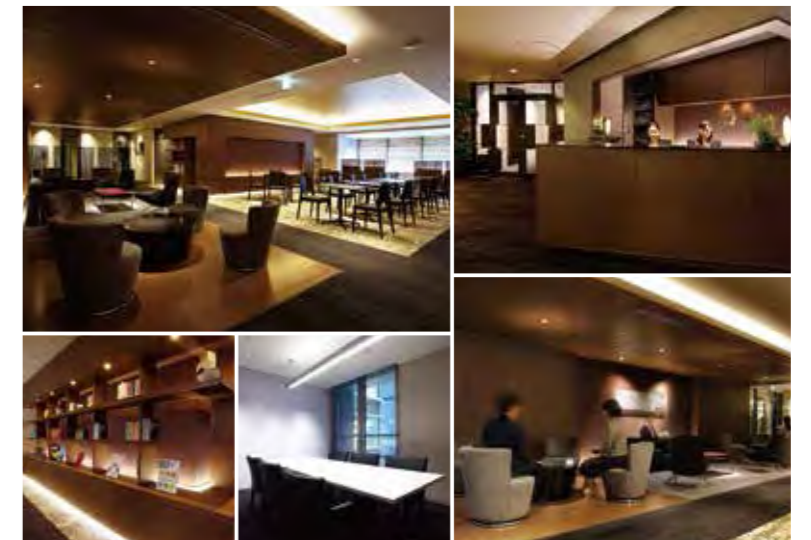
KRP BIZ NEXTを京都のビジネス拠点に

5月16日 ビジネスラウンジがオープン!

KRP4号館3階のサービスオフィス「KRP BIZ NEXT」のビジネスラウンジが、5月16日にオープンした。ソファ等をゆったりと配置したホテルラウンジのような上質な空間に、電源、無線LANやフリードリンクコーナー、ライブラリー、会議室を備えている。一人でのデスクワークはもちろん、少人数でのミーティングや、お客さまとの打ち合わせ、コーヒーを楽しみながらの休憩などにも利用できる。個室とラウンジを利用できるオフィス会員とラウンジのみ利用できるラウンジ会員の2種を募集中。

お問合せ KRP(株)営業開発部
TEL : 075-315-9333
<http://www.krp.co.jp/serviceoffice/>

関連イベントのお知らせ

再生医療ビジネスシンポジウム
in KRP Part IX専門家との直接意見交換
これから伸びる分野を徹底討論日時:9月13日(火)10:00~18:30
会場:KRP4号館 地下1階 パズホール
田畑 泰彦氏(京都大学 再生医科学研究所 生体材料学分野 教授)をはじめ再生医療分野の専門家の方々にご登壇いただきます。
<http://www.krp.co.jp/sangaku/bio/>

詳しい内容はWEBでチェック! ▶▶



・KRP News & Events <http://www.krp.co.jp/newsevents/>
 ・町家日記 <http://www.krp.co.jp/machiya/blog/>
 ・産学公連携部 <http://www.krp.co.jp/sangaku/event/>

Newcomers



KRPエリアに入居された
新しい企業様のご紹介です。

KRP 6号館

株式会社朝日ネット

インターネット接続サービス 全世界のサイトやネットワークと相互接続ができる通信環境を構築。独立系ISPとして多様な接続サービスを複数の電気通信事業者と提携し全国に展開しております。

クラウドサービス 教育支援システムの「manaba」をはじめ、自社開発によるさまざまなクラウドサービスを提供しております。

代表取締役社長 土方 次郎
TEL: 03-3541-1900
FAX: 03-3541-5631
URL: <http://asahi-net.jp/>
業種: ICT (通信インフラ)



KRP 1号館

あさみ歯科クリニック

当院では患者様の年齢や生活習慣にあわせて一人一人にあった最良の治療プランを提案させていただきます。お口の健康は体の健康に比例します。皆様の大切な歯と一緒に守っていく事、そしていつまでも健康でいられる事、それが当院の方針です。お子様からご高齢の方まで、どなたでも安心して通院できる歯科医院を目指してスタッフ一同努力してまいります。

院長 浅見 雄樹
TEL: 075-321-6258
FAX: 075-321-6259
URL: <http://asami-dental.jp/index.html>
業種: 医療/健康/化学/バイオ



KRP 6号館

中山大洋電機 京都研究所

中国広東省中山市に本社拠点がある大洋電機グループの中核会社である中山大洋電機の日本での開発拠点として活動を行っております。大洋電機グループの主体事業は、
・家電や空調機器用の小型モータとその制御システム
・EVなどの環境対応自動車の駆動システムとモータの開発、生産、販売、サービス
となっております。

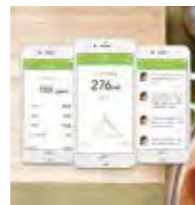
所長 高田 昌亨
TEL: 075-748-9739
FAX: 075-748-9739
URL: <http://www.broad-ocean.com/zh-CN/index.html>
業種: 電機/電子/半導体



KRP 6号館

株式会社ハカルス

「キッチン業界のGoogleになること」をビジョンに掲げ、様々なIoT・ハードウェア製品を開発・販売しています。その第1弾「ハカルス キッチンスケール」は、スマートフォンとBluetoothで接続し、連動するスマートフォンアプリを使うことで、乗せられた食材の栄養成分をインターネット経由でクラウドに記録することができるIoT家電製品です。



代表取締役 CEO 藤原 健真
TEL: 075-925-9111
URL: <https://hacarus.com>
MAIL: info@hacarus.com
業種: ICT (開発)



Profile

尾藤 美紀氏 (写真左)
大学卒業後、証券会社を経て米国留学。Adobe Systemsでローカリゼーション担当。大阪大学大学院に復学後、ITベンチャーでプロダクトマネジャーに従事。

花村 慎介氏 (写真右)
長野県出身。京都大学大学院で数理生態学を研究。介護事業のIT化支援を経てITベンチャーで機械学習によるデータ解析、予測研究に従事。



「京都大学の学生と共に、ワイワイ楽しくAI研究に取り組んでいます」と尾藤・花村氏。左は取材当日出勤されていた京大生赤間氏

英語を使える仕事を求めて
IT業界からAI研究に
プラント設備の製造や太陽光発電の設置などを手掛ける藤崎電機株式会社は、この4月KRP地区に「藤崎京都人工知能研究所(FKAIR・エフケアー)」を開設。尾藤氏と花村氏は共同でAI(人工知能)の事業計画を

持ち込みFKAIRを起ち上げました。現在、京都大学の学生3人と共にAI研究に取り組んでいます。大学卒業後すぐに証券会社に就職した尾藤氏でしたが、好きな英語が活かせる通訳の仕事を目指してアメリカへ。有能なITエンジニアたちと出会い、IT先進国であるアメリカのIT事業を

肌で感じる。帰国後ソフトウェア企業でローカリゼーションに従事、そして独立。「これからはITよりAI」と研究に没頭する毎日です。
「ヒトに寄り添ったAI」を創る
FKAIRの最強コンビ
同社が新事業の拠点に京都を選んだのは、学術研究の土壌が豊かだから。とりわけ京都大学とのアクセスの良さがKRP地区入居の決め手となったとのこと。大の研究好きで趣味は仕事という尾藤氏に対し、花村氏の趣味は、人間の非合理性が許されるマニュアル車の運転。しかし共に目指すのは「人に寄り添う優しいAI社会」。「開発に関しては二人のスキルでできる」と自信の花村氏。時に丁々発止のやり取りをしながら研究パートナーとして認め合う、絶妙のコンビネーションです。

肌で感じる。帰国後ソフトウェア企業でローカリゼーションに従事、そして独立。「これからはITよりAI」と研究に没頭する毎日です。
「ヒトに寄り添ったAI」を創る
FKAIRの最強コンビ
同社が新事業の拠点に京都を選んだのは、学術研究の土壌が豊かだから。とりわけ京都大学とのアクセスの良さがKRP地区入居の決め手となったとのこと。大の研究好きで趣味は仕事という尾藤氏に対し、花村氏の趣味は、人間の非合理性が許されるマニュアル車の運転。しかし共に目指すのは「人に寄り添う優しいAI社会」。「開発に関しては二人のスキルでできる」と自信の花村氏。時に丁々発止のやり取りをしながら研究パートナーとして認め合う、絶妙のコンビネーションです。

KRP 6号館

FKAIR ディレクター
尾藤 美紀
TEL: 075-316-0075
FAX: 075-316-0078
MAIL: m-bito@fujisakikk.co.jp

徳島に本社のある藤崎電機は、人工知能(AI)を活用した事業に乗り出し、4月に「藤崎京都人工知能研究所(FKAIR)」を京都市に開設しました。FKAIRとは、Fujisaki Kyoto Artificial Intelligence Research Instituteの略で、無限の可能性を秘めたAI事業の具現化を目指しています。まずは2016年6月29日からパシフィック横浜で開催の「PV JAPAN」で、AI発電予測搭載のクラウドサービス「O&M エナジーエージェンツ」を発表。今後さらにAI製品をリリースする予定です。



KRPエリアを拠点に活躍する
すべての人、その意外な素顔に迫ります。

KRP People

藤崎電機 株式会社 藤崎京都人工知能研究所 FKAIR
ディレクター 尾藤 美紀氏
チーフリサーチャー 花村 慎介氏

企業情報

藤崎電機株式会社
藤崎京都人工知能研究所
FKAIR(エフケアー)





PRE EVENT
7.29 FRI - 30 SAT · 8.1 MON ▶ 8.7 SUN

会場：KRP地区内各施設

KRP-WEEKは「イノベーションの創出と交流の場づくり」をテーマに開催する地区のイベント週間です。
基調講演、セミナー、七夕まつり、交流会などイベントが盛り沢山!最近ホットな京都駅西部エリアに位置するKRPに、是非ご来場ください。

主催：KRP(株)

後援：近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所、(公社)京都工業会、京都産業育成コンソーシアム、京都産学公連携機構

問合せ：KRP(株) KRP-WEEK事務局 TEL:075-315-8485 E-mail:kpr-week@krp.co.jp

詳細は → www.krp.co.jp/krpweek/



PICK UP
EVENTS

KRP-WEEKシンポジウム ～社会起業家があついで～

基調講演、パネルディスカッションを通して海外や日本国内、また京都での展開事例とともに、
社会の課題に向き合う「熱い」現場の今をお話いただきます。

8.1 MON 身近な“未来の変え方”について話そう —ソーシャルビジネス/デザインの今—

スタディツアーや修学旅行、カンファレンスなどを通して様々な社会問題/地域課題に目を向けてもらう場づくりやメディア事業を行う(一社)リディラバの安部代表をお招きし、社会問題解決をオンビジネスで取り組むための考え方や必要な能力、現場におけるソーシャルビジネスの今を講演いただきます。



基調講演：安部 敏樹氏 (一社)リディラバ代表理事

8.2 TUE いま、ここから世界の変革が始まる： 協働社会に向けたソーシャルイノベータの挑戦

京都大学デザインスクール
コラボレーション企画

世界は、今、高度な市場経済から高度な協働社会へと転換する途上にあると言われています。また、それこそが、資源の争奪戦に起因する国際的な緊張を和らげ、持続可能な世界に向かう、唯一の道であるように思われます。このシンポジウムでは、グローバルなデザイン企業が生み出した非営利組織(IDEO Org.)、事業創生を先導する企業(野村総合研究所)、地域で活動する非営利組織(場とつながりラボ)から講師を迎え、世界各地で奮闘するソーシャルイノベータの活動を学び、はるかな協働社会を展望します。(オーガナイザー 京都大学 石田 亨教授)



基調講演：“The Intersection of Design and the Social Sector” Adam Reineck IDEO Org., Design Director and Co-Lead

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上
krppress@kpr.co.jpへ

配送 ①〒、住所 ②団体名 ③部署名 ④お名前 ⑤TEL/FAX ⑥メールアドレス ⑦「配送希望」 ※定期配送も可能です
停止 ⑧ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨「配送停止希望」 変更 ①～⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.